

葉色は指標値比+2.0とやや濃い状況 今後の葉色低下に注意

1 コシヒカリの生育概況

- 葉色は指標値よりやや濃いほ場が多い状況ですが、一部急低下しているほ場があります。
- 出穂期は平年並みと見込まれます。(5/10~15の田植では8/2頃が出穂期の見込み)

7/25 現在の生育 葉色：やや濃い SPAD値 34.5
※コシヒカリ(指標値比) (SPAD値+2.0)

	田植日	葉色 (SPAD値)	
		本年	指標差
下稻塚	5/10	35.7	+3.2
南新保	5/11	34.0	+1.5
長崎	5/12	33.1	+0.6
上百々	5/19	35.2	+2.7
平均	—	34.5	+2.0
関山	5/17	31.4	▲1.6

2 今後の管理

- (1) 今後も気温は高温傾向での推移が予想されます。特に葉色が淡いほ場は、葉色を確認した上で、品質確保のため下記のめやすを参考に追加穂肥を検討してください。

ア 分施肥体系の追加穂肥のめやす

施肥体系	判定時期と葉色のめやす	施用時期と施用量
化学肥料体系【慣行栽培】 ・1~3回目とも化学肥料	出穂期3日前の葉色 SPAD値：31以下、葉色板4.0以下	出穂期3日前までに窒素成分で1kg/10aを上限
有機質肥料体系【減減栽培】 ・3回目に有機50%肥料	出穂期6日前の葉色 SPAD値：33以下、葉色板4.5以下	出穂期3日前までに窒素成分で1kg/10aをめやす

イ 全量基肥施肥の追肥のめやす

化学肥料100%全量基肥肥料の栽培で出穂期の葉色(SPAD値)が32を下回ると予想される場合は出穂10日前までに穂肥を窒素成分で1kg/10a施用する。

減化学肥料栽培の全量基肥肥料で出穂10日前の葉色(SPAD値)が30以下の場合、出穂5日前までに有機質100%肥料を窒素成分で2kg/10a施用する。

- (2) 穂ばらみ期から出穂・開花期頃は最も水が必要な時期です。飽水管理を継続し、こまめな水管理で稲体の活力低下や下葉の枯れ上りを防いでください。

3 熱中症予防について

農作業時は水分補給や休憩時間を十分に確保するなど、熱中症予防に十分注意してください。

問い合わせ先 上越農業普及指導センター作物担当 (電話025-526-9406)